NPO法人日本バイオ技術教育学会誌　原稿執筆要領

バイオテクノロジストへの投稿にあたっては、以下の要領に従って原稿を作成ください。

1.用紙及びファイル形式：

Microsoft　Word形式、あるいはrtf形式で保存できるワードプロセッサを用い、A4判用紙縦位置で、40字（全角）×25行程度　（12ポイント程度）で作成する。尚上下、左右20㎜以上のマージンを設定してください。

文字は明朝体、英数字はTimes New Roman、Centuryなどの標準的なフォントを利用し、本文には全体を通して行番号、頁を入れてください。

2.原稿構成：

2-1　原稿は、タイトル頁、本文、文献、表、図の説明、図の順に配列してください。

2-2　タイトル頁には、1）論文題名、2）著者名、3）著者所属機関名、4）要旨（400字程度）、5）キーワード（5個以内）、6）投稿論文の連絡対応著者名およびその連絡先住所・電話番号・ファックス番号・E-mailアドレスを明示してください。

尚著者が複数で所属機関が異なる場合は、著者名末尾に上付数字をつけて区別し、対応所属機関を明示してください。

また原著論文以外の原稿では要旨を省略してもかまいません。また著者名と所属、連絡先は英文を併記してください。

2-3　通常論文の本文は原則として、緒言、材料及び方法、結果、考察（または結果及び考察）、謝辞で構成してください。 短報ではこれらの項目を区別せずに構成してもかまいません。

2-4　総説、テクニカルノート、教育事例の本文には方法、結果、考察の項目を記載する必要はありません。ただし緒言（はじめに）、結論（おわりに）の記載は必須とします。

2-5　化合物名の表記は原則IUPAC命名法に従い、日本語で表記してください。元素記号、簡単な化学式を用いて構いません。生化学関係の命名はIUB勧告の命名法に従い、酵素名は初出時に系統名と酵素番号（E.C.№）を入れてください。 医薬品の商品名を使用する場合は頭文字を大文字とし初出時に括弧内に一般名あるいは化学名を入れてください。

2-6　略語リストがある場合は本文1頁目に脚注を設けて記載してください。生化学関連、酵素関連などでIUPAC、IUBMBで承認されている略語は説明を記載しなくて良いです。 化学式に用いられる略号や記号などはChemical Abstractの用例に従ってください。

3.引用文献：

3-1　引用文献番号は本文の出所順に引用場所の右肩に上付きで[1),2)]、または3件以上を引用する場合は[1)-3)]のように通し番号を記載してください。

タイトル頁

1）表題
（総説）　細胞培養技術と再生医療の現状と展開
2）著者
○本○人[1)]、○山○美[2)]、○川○枝[2)]
○○hito、○○moto、、○○mi
3）所属機関
1）独立行政法人○○○○・○○○○研究部
2）○○大学大学院○○研究科○○研究室
4）要旨
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
5）キーワード
○○○○、○○○○○、○○○、○○○○○
6）連絡先
1）○本○人：独立行政法人○○○○・○○○○研究部
東京都○○区○○町○○－○○○－○
℡：03-○○○○-○○○○　e-mail
2）○山○美：○○大学大学院○○研究科○○研究室
神奈川県○○市○○-○○○○
℡：045-○○○○-○○○○　e-mail

本文

1　（総説）細胞培養技術と再生医療　～現状と展開～
2　　○本○人[1)]、○山○美[2)]、○川○枝[2)]
3　1）独立行政法人○○○○・○○○○研究部
4　2）○○大学大学院○○研究科○○研究室
5
6 はじめに
7 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
8 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
9 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
10 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
11 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
12 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
13 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
14 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
15 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
16 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
17 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
18 ○○○○○○○○○
19
20 1.細胞培養技術と再生医療
21 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
22 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
23 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
24 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
25 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
図１ 細胞培養の歴史

-1-

3-2 引用文献は「文献」の項目にまとめて記載します。本文引用順に番号を付して記載してください。 記述の順番は①番号、②著者名(全員)、③表題、④書名、⑤巻、⑤初頁－終頁、⑥出版社名並びに地名、⑦出版年を基本とします。
尚著者が4名以上の場合は筆頭著者3名を記載したのち、「ら」(英文表記では「*et al.*」)と記し、それ以下の著者名を省略することができます。 またウェブページに掲載されたPDFファル等は電子出版物としてみなしますので、これを参照・引用した場合も文献欄に記載してください。(参考文献表示例参照)

4.図表の作成

4-1 図表の印刷サイズは最大で幅約17㎝(2段分)、縦約25㎝です。タイトルと説明も含めてこの範囲に収まることを想定して図、表や写真を作成してください。 印刷時幅8㎝に縮小しても十分読み取れる鮮明なものとしてください。また図表中の文字も縮小したときに最低でも8～9ポイント程度となるように作成してください。

4-2 図・写真のタイトルは図・写真の下部に、表のタイトルは表の上部に付けてください。図・写真の凡例や解説はタイトルの続きに、表の脚注は表の下部に付けてください。 図・写真や表には、読み取りの手助けとなることを念頭に、適切な説明を付与してください。尚図表の表記は日本語でも英語でも構いません。

4-3 写真や図表はモノクロ(白黒)を原則としますので、グラフのデータポイントや領域は、形状やハッチングなどで識別できるように工夫してください。尚必要な場合はカラー原稿も受け付けます。

4-4 査読用原稿では、本文に上記スタイルの図表、その説明文を埋め込んで作成して構いません(PDF,JPEG等のWord/Power pointへの貼付け)。 あるいは2-1に示したように文献の後にそれぞれ別ページで表、図の説明、図の順に構成してください。
完成原稿では図表は印刷版下を作成してください。画質の劣化を防ぐため、Wordなどに張り付けず、図表作成に使用したソフトのオリジナルのファイル形式で提出してください。

参考文献表示例

雑誌:
著者名(全員).表題.雑誌名.巻数:初頁－終頁.(発行年)

1) 川口義弥.膵臓発生の研究がもたらしたもの(ヒト疾患の理解と再生医療への応用にむけて). 蛋白質核酸酵素.52(12) : 1406-1412.(2007)

2) 髙橋禎暢, 武部貴則, 谷口英樹.多能性幹細胞を用いた膵β細胞分化誘導研究の最新動向. Organ Biology. 21(2) : 228-236.(2014)

3) Nichols, R. J., Newb, C., Annesb, J. P. *et al.* Adult tissue sources for new ßcells, Transl Res. 163(4) : 418-431. (2014)

単行本:
著者名(全員).表題.編者名(全員).書名(巻数版数).発行地名:発行社名:頁数. (発行年)

1) 木下英司,木下恵美子,小池透 . Phos-tag ゲルによるリン酸化タンパク質の分離・同定法. In:中村和行,西尾和人,西村俊秀,編.臨床プロテオミクス バイオマーカー探索から個別化医療へ.東京:金原出版:271-274.(2021)

2)Kinoshita－Kikuta E , Kinoshita E , Koike T . Pos-tag technology for kinomics. In: Kraatz H-B, Matric S, editors. Kinomics: Apploaches and applications. Weinheim: Wiley-VCH Verlag GmbH & Co. KCaA;:195-210 .(2015)

電子出版物:
著者名.表題.[媒体種類].発行地名.発行社名、発行年. [アクセス年月日].頁数.掲載 URL.

1) Garg RK, Tandon S. Smoking habits of adolescents and the role of dentists. J Contemp Dent Pract [Internet]. 2006 May 1 [cited 2007 Jan 9];7(2):120-9. Available from: http://www.thejcdp.com/issue026/pdfs_web/garg.pdf

2)文部科学省学校基本調査結果の概要(高等教育機関)[インターネット].平成３０年度[アクセス 2021.8.17]:1-30. https://warp.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/11293659/www.mext.go.jp/component/b_menu/other/__icsFiles/afieldfile/2018/12/25/1407449_3.pd